

2024年8月29日
株式会社新日本科学

<https://www.snbl.co.jp>

(証券コード:2395 東証プライム)

つくばにおける創薬エコシステム強化に向けた アステラス製薬との連携・協力について

株式会社新日本科学（本社 鹿児島県鹿児島市、代表取締役会長兼社長：永田良一、以下「当社」）は、アステラス製薬株式会社（以下「アステラス製薬」）の研究所の一つであるつくば研究センター内のオープンイノベーション拠点「SakuLab™-Tsukuba（つくば）」に隣接する動物施設を活用し動物実験に関するサービスを提供することで、つくばにおける創薬エコシステム強化に向けて連携・協力することとなりましたので、お知らせいたします。

SakuLab™-Tsukuba は、日本有数のライフサイエンス拠点が形成されている茨城県つくば市のアステラス製薬つくば研究センターの敷地内に設置されており、スタートアップ企業や大学等の研究機関など、社外のイノベーターを受け入れるオープンイノベーション拠点です。入居後すぐに使える生物系・化学系の実験施設を備えており、アステラス製薬の様々な専門家による創薬サポートを受けられるほか、利用者同士、あるいは同社の研究者とのネットワーキング機会を活用できる場となっています。

当社は、医薬品開発のための非臨床試験および臨床試験（治験）を製薬会社などから受託して実施するCRO（医薬品開発業務受託機関）事業を主力としています。この度、アステラス製薬が運営するSakuLab™-Tsukubaのコンセプトに賛同し、国内最大手の非臨床CROとして、ライフサイエンスエコシステムの一端を担うべく参画いたします。これまでに様々な創薬モダリティ分野で培った経験と実績を活かし、SakuLab™-Tsukubaの利用者やアステラス製薬のみならず、その他製薬企業およびバイオベンチャーの医薬品開発における、開発初期段階の物性評価、薬理評価、動態評価、安全性評価など非臨床研究を幅広くサポートしてまいります。

アステラス製薬 オープンイノベーションマネージメント長 後藤正英のコメント：

「私たちは日本のライフサイエンスエコシステム発展に貢献するため、オープンイノベーション活動に非常に力を入れています。この度、日本を代表するCROである新日本科学様からSakuLab™-Tsukubaのコンセプトに賛同いただいたことを心より嬉しく思います。今回の新日本科学様との連携により、今後のつくばエコシステムの発展が加速するものと確信しています。」

当社 代表取締役会長兼社長 永田良一のコメント：

「アステラス製薬様と連携し、国内有数のライフサイエンス拠点において、斬新なアイデアに挑戦するスタートアップ企業やアカデミア、そして製薬企業等による創薬エコシステムの強化に寄与できる機会を頂き、大変嬉しく思います。新日本科学は新たな創薬モダリティの研究開発について、グローバルに数多くの支援実績があり、そのノウハウ・経験を活かし、つくばエコシステムにおける日本の創薬と先端技術の更なる発展をサポートしてまいります。」

当社はこれからも「人類を苦痛から解放する」という使命を果たすべく、ライフサイエンス分野における先端技術の研究開発と医療現場での応用・技術向上を目指す事業を誠実にサポートしてまいります。

<ご参考>

SakuLab™-Tsukuba について :

<https://www.astellas.com/jp/innovation/open-innovation/labs/tsukuba>

以上

【本件に関するお問い合わせ】
(株)新日本科学 IR広報統括部
TEL: 03-5565-6216
E-mail: ir@snbl.com